



29日1幕1場 ポストン総督リッカルドは多くの人から慕われている反面、暗殺の陰謀も囁かれており、腹心の部下レナートから忠告を受ける。



30日1幕2場 リッカルドは変装して女古い師ウルリカのもとへ訪れ、占ってもらおうが「最初に握手をした者に殺される」と告げられる。その時、レナートが現れて握手を求めてくる。リッカルドはこんな予言は当たるはずがないと言う。

ヴェルディ生誕200年にあたる本年、老舗の関西歌劇団が取り上げたのは「仮面舞踏会」。同団の現在の実力、持ち味からすればこの選択は当を得たものである。昨今はドラマの時代背景を無視した衣装というものも珍しくはないが、幸いこの公演では物語の時代設定に準拠した衣装で演じられた。一方、立体的象徴的にデザインされた舞台セットは斬新でありながらこの愛憎劇をごく自然に見せる大胆且つ優れたものであった。三角関係を演じた3人の歌手は

それぞれ安定した歌唱であったが、特にアメリカ湯浅契(29日)の繊細な感情表現は光っていた。その他では、ウルリカ荒田祐子の歌唱が圧巻であった。ただ、いつもと異なりザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団の演奏からは全然ドラマが聞こえてこなかった。また、2回の休憩を挟んで3時間をゆうに超える上演は、欧米のオペラハウスならともかく日本では避けるべきである。コンパクトにまとめる工夫を望む。(6月29日所見)

G. ヴェルディ作曲  
「仮面舞踏会」——全3幕

ヴェルディ生誕200年記念  
関西歌劇団 第95回定期公演

6月29日、30日、吹田市文化会館 メイシアター 大ホール  
文——門田展弥 写真——早川壽雄

●スタッフ  
指揮…柴田真郁 演出…愛國淳  
装飾…衣裳…アレックスアンドロ・チャンマルーギ  
照明…笠原俊幸 振付…伊藤範子 他  
●キャスト(6/29、6/30)  
リッカルド…清原邦仁 藤田卓也  
レナート…井上敬典 榎貴志  
アメリカ…湯浅契 佐川康子  
ウルリカ…荒田祐子 西原綾子  
オスカル…野口麻衣 森屋結  
シルヴァーノ…落合庸平 和田一人  
サムエル…岩瀬昌弘 堀保司  
トム…周江平 畑瑛  
判事…佐々木荘生 池田真己  
●管弦案…ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団  
合唱…関西歌劇団合唱部



29日2幕 リッカルドの命を狙った一味が現われ、レナートが争う中でリッカルドとアメリカと一緒にいた事が判明し、レナートは愕然とする。



30日3幕3場 レナートがリッカルドを刺し、最後の息の下、レナートに新任地赴任の書類を与え、アメリカは潔白だと告げ、謀反者を無罪にせよと遺言し息絶える。



## スタインウェイジャパン 15周年記念 限定モデル

Steinway & Sons Japan, Ltd. 15th Anniversary  
"Crown Jewels Special Limited Edition"



White Ebony  
S-155 艶出塗装仕上 (1,500万円) / O-180 艶出塗装仕上 (1,700万円)  
(価格はいずれも税込、メーカー希望小売価格)

1997年日本法人として設立されたスタインウェイジャパン株式会社が15周年を迎えたのを記念して製作された限定モデルが発売された。今回のモデルは、同社の「クラウンジュエルシリーズ」の中の限定モデルで、希少価値の高い木目を使用し、5つのサイズが売り出された。「クラウンジュエルシリーズ」は、

今年160年を迎えたスタインウェイ&サンズ社のクラフトマシニップにより、世界中から集められた美しい銘木によって製作されたピアノで、永遠の輝きを秘めた貴石にちなんでこの名がつけられた。右写真は、黒壇が白色化した珍しい木材を使用したホワイトエボニーで、明るい下地と黒の木目のコントラストが際立つ逸品。(国内限定2台、専用ベンチつき)  
(問合せは、☎03-5251-6550)